平成２７年第７回大仙市教育委員会定例会議事録

平成２７年第７回大仙市教育委員会定例会を平成２７年７月２８日（火）午後３時３０分から大曲図書館において開催した。

出席者

委　員　風　登　森　一
　　富　樫　佳　典
　　鈴　木　直　樹
　　伊　藤　　良
　　竹　原　まゆみ
教育長　吉　川　正　一

説明員

教育指導部長	千　田　寿　彦
生涯学習部長	山　谷　喜　元
教育総務課長	佐　藤　彰　洋
教育指導課長	九　嶋　正　明
教育研究所長	佐　藤　英　樹
生涯学習課長	山　崎　文　幸
文化財保護課長	細　川　良　隆
スポーツ振興課長	伊　藤　優　俊
学校給食総合センター所長	杉　山　光　行
総合図書館長	高　見　正　信
総合市民会館長	大　河　洋　子
花館公民館長	千　葉　信　夫
神岡中央公民館長	石　山　雄　康
西仙北中央公民館長	小山田　幸　哉
中仙公民館長	草　薙　栄　良
協和公民館長	佐々木　　稔
南外公民館長	佐　藤　政　利
仙北公民館副主幹	榊　田　亜喜子
太田公民館長	煤　賀　康　典

書記

教育総務課参事	藤　井　吉　美
教育総務課参事	田　口　広　龍

付議案件

(1)　議案第40号　教育に関する事務の点検・評価報告書案について
(2)　議案第41号　大仙市就学指導委員会委員の委嘱について
(3)　議案第42号　就学指導専門検査員の委嘱について
(4)　議案第43号　大仙市立中学校用教科用図書の採択について

吉川教育長
　定刻になりました。委員の皆様、本当に暑い中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。
　本日は委員の皆様、全員御出席です。書記に藤井参事、田口参事を指名いたします。
　ただいまから、平成２７年第７回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。
　前回定例会の会議録及び第２回臨時会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。
　ここで、職員の皆様に、この７月１日付けで教育委員に就任されました風登委員を御紹介いたします。

風登委員
　風登と申します。この後の会で挨拶する機会があるということですので、ここではいたしません。どうぞ、よろしくお願いいたします。

吉川教育長
　ありがとうございました。風登委員には、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第１３条第２項の規定により私の職務代理者に指名させていただきましたので、皆様に御報告させていただきます。
　はじめに、委員の皆様には電話等で御連絡をさせていただきましたが、このたびの市内小学校の５０代男性教諭が、業務用の個人情報が保存された私物ＵＳＢメモリーを紛失した件について、改めて御報告申し上げます。
　この教諭は７月１３日午後４時頃、ＵＳＢメモリーの音楽データを使い、校内で児童とともに部活動の練習をしていました。練習終了後、ジャージのポケットに入れていましたが、帰宅の準備をしていた午後６時４０分頃、紛失に気付いたものであります。このＵＳＢメモリーには、パスワード設定はされていませんでした。
　これには、教諭が担当するクラスの学級通信や勤務する学校の行事の写真、教材資料、市内１１校４２名の児童の所属や氏名、顔写真なども保存されていました。また、勤務先の全校児童の学年と名前が保存されていた可能性もあります。
　現在のところ、まだ、ＵＳＢメモリーは見つかっていません。また、インターネット上への個人情報流出などの被害は確認されていません。
　再発防止策についてですが、現在、全教職員一人一人にパスワード入りのＵＳＢメモリーを配付すること、また、全小・中学校において、全教職員を対象にスクール・コンプライアンス及び情報セキュリティポリシー遵守等に係る校内研修会を行うことなどを進めております。
　委員の皆様には、大変な御心配、御迷惑をおかけいたしました。今後、各小・中学校への指導を徹底してまいりますが、委員の皆様からの御指導もよろしくお願い申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。
　次に、本日の議事及び進行について、私から御提案申し上げます。本日の付議案件は４件となっていますが、このうち議案第４３号「大仙市立中学校用教科用図書の採択について」は意思決定過程の情報でありまして、公開することにより支障が生じるおそれがあり

ますので、これに限り秘密会にしたいと思います。これに伴い、教育長報告の後、議案第４０号から議案第４２号までを御審議いただきまして、その次に次第の５番その他に入らせていただきます。その他終了後、議案第４３号について御審議いただくということで、会議をスムーズに進めさせていただきたいと思いますが、皆様、いかがでしょうか。

各委員　（異議なし）

吉川教育長

ありがとうございます。それでは、そのように進めさせていただきます。

それでは、次第３番の教育長報告に入らせていただきます。

お手元の資料の１ページ目を御覧ください。

昨日も臨時議会で、私の教育への思い、方向性について、概要をお話しさせていただきましたが、この点について少しお時間をいただきたいと思います。

平成２５年３月に国立社会保障・人口問題研究所の人口動態、いわゆる２０４０年問題が発表されました。その推計によりますと、大仙市の人口は、平成２２年の約８万8,000人から２０４０年となる平成５２年には、約５万5,000人に、また、６５歳以上の方の割合も、平成２２年は３１．６パーセントでしたが、平成５２年には４２．９パーセントとなり、深刻な少子高齢化となることが予測されております。

このように人口減少、少子高齢化は長期にわたる大きな問題でありますが、その克服の一助として、教育の果たす役割は大きいものがあると考えております。

基本的には、三浦前教育長が進めてこられた教育基盤である「生きる力」の育成を一層進め、「共」、「共に」、「創」、「創る」、「考」、「考える」、「開」、「開く」の四つのキーワードをもとに、少子化という大きな問題を少しでも解決するため、「地域を元気づけ、将来的に地域を支える人材の育成」、これを前面に出した教育環境づくりに努めてまいりたいと考えております。

これからの時代は、大きく二つの社会となることを踏まえた教育が必要と言われております。一つは「知識基盤社会」という、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域で活動の基盤として飛躍的に重要性を増す社会というものです。二つ目は「少子化・グローバル化」社会ということで、その名前のとおり、少子化における労働状況等の変容、それによりグローバル化がますます進展する社会というものです。そのことを踏まえつつ、これまで多くの教育的財産を類型、系統づけて、できれば「大仙教育メソド（方法、規則）」として、全国に発信していきたいものと思っております。

その柱としたいのが、そこに書かれております五つで、一つは大仙市の良さを生かしていく「生きる力を育むキャリア教育の一層の推進」、二つ目が「基礎学力の定着とそれを活用できる学力の育成」、三つ目として様々な障害や状況にある子供たちに生きる力を育む「特別支援教育の理解と充実」、そして、四つ目がスポーツ振興による「体力の向上」、最後の五つ目が、生きるエネルギーとなる「生涯学習の充実」であります。このことを念頭に、現在の施策を進めてまいりたいと考えております。

まだまだ「夢」のような思いではございますが、「地域活性化に寄与できる子供の育成」を推し進めて、一人でも多くの人材がふるさとに残ってもらう取組を進めていきたいと思

います。そして、でき得れば「大仙市で子育てしたい」と思えるまちづくりに貢献できる教育を目指してまいりたいと考えています。大仙市の教育は、全県でも評価される取組の多い地であります。何とか、少子化の進行を鈍化させる環境づくりを進めたいと考えております。以上であります。

次に７月の関係各課の状況ですが、今回より大きく「学校教育」「社会教育」「文化財」「社会体育」「安全・安心」の５領域について、私の方からは状況のトピックスを御報告し、詳細は担当より報告させていただきたいと思います。

まず、学校教育でございますが、今月は９校訪問させていただきました。どの学校も子供・教師とも表情が良く、柔らかな空気感の中で授業がなされておりました。また、特色ある教育活動として特に進めている小中連携につきましては、子供像や学校指導の小･中の連続性のある取組が見られました。全国からの視察も多かった月でしたが、特に「学習習慣の徹底」や「家庭学習の進め方」等について、参考にしたいとの声が多く聞かれました。

次に、２ページを御覧ください。社会教育についてですが、７月１日から１２日までに大仙市市民活動交流拠点センターで開催された「木村伊兵衛特別写真展」には１，２３９人の見学者がありました。

また、文化財関係については、７月９日、１０日に山形県鶴岡市で開催された全国史跡整備市町村協議会で、栗林大仙市長が副会長に再選されております。

社会体育では、７月１１日、１２日に行われました第５７回大仙仙北スポーツ少年団選抜野球大会において、神岡野球スポーツ少年団が準優勝いたしました。全県大会への出場を手にしております。それから、大雨の影響で１日順延になりました第２４回全県５５０歳野球の決勝が午前中行われました。仁井田野球クラブと神岡大浦クラブが決勝に進みました。４対２で仁井田野球クラブが優勝いたしました。惜しくも神岡大浦クラブが準優勝ということで、しかし、これも快挙でございます。御報告させていただきます。

安全・安心面についてでございますが、御心配をおかけしました仙北学校給食センターの調理員のノロウィルス発症につきましては、大きな混乱や長期にわたるセンターの業務停止がなく、最小限で対応されたと思います。交通安全については、７月１４日に大曲小の４年生児童が高校生が運転する自転車と衝突して鎖骨骨折の重傷を負う事故が発生しましたが、夏休みは、特に自転車の安全利用を呼び掛けております。また、熱中症予防につきましては、日本スポーツ振興センターのパンフレットを各学校に配布し、注意喚起しております。以上が、概要でございます。

次に、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきます。教育総務課長、まず、最初にお願いします。

教育総務課長

教育総務課、１０項目掲載しております。７月１３日に収納対策推進本部会議が開催されております。各種債権の収納状況、滞納者への対策などについて協議しております。教育総務課所管につきましては、奨学資金の償還金と学校給食費が対象となっております。以上であります。

吉川教育長
　次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長
　教育委員等訪問が７月９日の太田南小学校で終了いたしましたが、委員の皆様には御難儀をおかけいたしました。ありがとうございました。教育長等訪問は、７月１６日の中仙小学校で前期分を終了しております。
　７月１８日から２０日にかけて秋田県中学校総合体育大会が行われました。市内の中学生も頑張りました。太田中のバレーボール、大曲中の女子バドミントンと全県ナンバーワンに輝いております。この後８月になりますと、東北大会、全国大会と進んでまいります。
　資料に記載してございませんが、７月２５日に大雨のため災害対策本部が設置されました。各校の管理職を通じて児童生徒の安全を確認したところ、新聞報道でもございました中仙地域清水の金鎧地区に、合わせて３世帯６名の清水小、中仙中の児童生徒がいましたが、全て安全に家庭で過ごしているという報告がございました。それから、仙北中の駐輪場が一部冠水いたしました。一部電源が入らないということがございましたが、夕方６時半には復旧いたしました。その間、太陽光発電を利用したということで、大変いい経験にもなった状況でありました。いずれ、被害もなく無事に過ごしております。
　８月の話をさせていただきますが、８月１日の「弁当の日」の講演会、８月４日の教職員研究集会には、御出席くださいますようよろしくお願い申し上げます。以上です。

吉川教育長
　次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長
　生涯学習課では１０項目、挙げさせていただいております。７月２３日、２４日、リーダーキャンプが１９名の子供たちが参加してくれまして、無事元気に２日間を過ごして帰ってきております。以上でございます。

吉川教育長
　次に、文化財保護課長、お願いします。

文化財保護課長
　文化財保護課は１０項目ございますけれども、内容は記載のとおりでございます。
　なお、ここにはございませんが、２点について御報告させていただきます。
　まず、一つ目は、中仙公民館と一緒に行っている事業ですが、長野分館の附属施設となっております長野中学校の校舎の一部を利用した資料館がございます。この資料館が老朽化していることもございまして、資料の一部移転と長野分館前に地元に関係する貴重な資料を展示するコーナーの開設準備を進めております。お盆前にはオープンしたいと考えております。もう一つは、２５日の大雨に関してですけれども、昨日、今回の大雨で鈴木空如の作品に被害はなかったのかとお見舞いのメールがお二方から届きました。一人は奈良

市にあります東大寺ミュージアムの館長さんからです。もう一人は、仙北地域横堀出身の大曲高校ＯＢで世界初の量産型デジタルカメラの開発者でもあります大河さんという方であります。文化財保護課といたしましては、お二方とは直接の面識はございませんが、県外からこのようなお見舞いのメールがあったということに大変感激いたしました。以上であります。

吉川教育長
　次に、スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課長
　７項目、挙げさせていただいております。先ほど、教育長の方からも御報告がございましたが、全県５５０歳野球大会が行われ、神岡大浦クラブが準優勝ということで健闘していただきました。準決勝ではその大浦クラブと大曲クラブが対戦いたしました。大曲クラブもベスト４と健闘していただきました。以上です。

吉川教育長
　次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長
　学校給食総合センターは、５項目掲載しております。仙北給食センターの調理員の現在の状況についてですが、調理員本人は陰性になりました。ですが、子供さんは、まだ陽性という状況です。陰性になるまで検便検査を実施してまいります。以上です。

吉川教育長
　次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長
　総合図書館は１０項目掲載させていただきました。７月はインターンシップで市内の高校生が職場体験をすることになっております。
　それから、昭和１４年中良野会から、これは大曲中学校の同級生の会ですけれども、視覚が弱い方のための大活字本６０冊を寄贈していただきました。御報告させていただきます。以上です。

吉川教育長
　次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館長
　総合市民会館、５項目挙げさせていただきました。７月１６日に平成２７年度秋田県公立文化協議会館長会議が開かれまして、中仙市民会館、ふれあい文化センター、大曲市民会館の３人の館長が出席してまいりました。冒頭、会長の挨拶で市民会館の基本理念は集

うであり、私たちには地方活性化の一助を担う役割があるとのお話がございました。総合市民会館といたしましても、４市民会館で課題を共有いたしまして業務に取り組んでまいりたいと考えを新たにしてまいりました。以上です。

吉川教育長
　次に、花館公民館長、お願いします。

花館公民館長
　花館公民館、大曲地域基幹公民館では１０項目掲載しております。７月１９日に行われる予定でした四ツ屋地区民登山は雨天のため、翌２０日に実施しております。今回の登山は１６名が参加され、真昼岳に登って仙北平野の雄大な風景を堪能してきております。また、今回は、四ツ屋小学校１年生の児童１人が参加して頂上まで登っております。この地区民登山は、４０回目を迎えております。現在まで、鳥海山をはじめ、八幡平や田代岳など県内各地の山を登っていると伺っております。以上です

吉川教育長
　次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長
　神岡中央公民館１２項目のうち、第５７回大仙仙北スポーツ少年団選抜野球大会の結果について、御報告いたします。7月１１日、１２日の２日間にわたりまして、大仙、仙北、美郷の各スポーツ少年団本部及び支部から推薦を受けました１６チームの参加で神岡野球場ほか３球場で開催されております。この大会は、県内で学童野球の組織的大会が少ない昭和３４年に大曲仙北学校体育連盟と神岡町教育委員会の主催で、大曲仙北地区学童野球大会として中川原グラウンドで８チームの参加で行ったのが最初です。当時、学童野球の組織的野球大会は、秋田市、男鹿市、大曲仙北地区だけだったと言われております。その後、小学校野球部から野球スポーツ少年団組織へと移行になりました平成１０年度以降も神岡町教育委員会や大仙市スポーツ少年団神岡支部でこの大会を継続してきております。
　今年で５７回目となりますこの大会は、美郷町の仙南小学校クラブが地元神岡小学校クラブを延長９回７対６のサヨナラで優勝しました。この２チームは、来月６日から八橋球場で開催されるナイスカップ、第４６回小学校クラブ野球大会兼第３８回秋田県スポーツ少年団大会に大仙仙北地区の代表といたしまして、出場します。昨日、組合せ抽選が行われまして、地元神岡小学校クラブは開会式直後の試合で、南秋・潟上地区代表大豊小学校クラブと対戦します。以上です。

吉川教育長
　ありがとうございました。次に、西仙北中央公民館長、お願いします。

西仙北中央公民館長
　西仙北中央公民館では９項目挙げさせていただいておりますが、西仙北スポーツフェス

ティバル２０１５について御報告いたします。この大会は、５００歳野球大会と一般野球、グラウンドゴルフ大会の３種目で行っておりましたが、今年は一般野球が各種大会がありまして参加するチームがありませんでしたけれども、５００歳野球は５チーム１２０名、グラウンドゴルフは７８名、合計１９８名の参加がありました。１日和やかに大会を終えさせていただきました。以上です。

吉川教育長
　ありがとうございました。次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長
　中仙公民館は１５項目挙げさせていただきました。その中で「座禅にチャレンジ」について御報告いたします。これは長野の曹渓寺におきまして、朝の６時半から地元の小中学生はもとより高校生、大人も参加しております。座禅にチャレンジということでしたが、座禅のほか幻のラジオ体操と言われておりますラジオ体操第３にもチャレンジしております。以上です。

吉川教育長
　ありがとうございました。次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館長
　協和公民館では３項目掲載しております。７月１２日に行われました「まほろば唐松芸術祭」についてですが、２００名以上の方々が来場されまして盛況に終えております。以上です。

吉川教育長
　ありがとうございました。次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長
　南外公民館では、南外小６年生、南外中生徒会、地域住民が参加した「被災地・南三陸町」視察研修について御報告いたします。南外中学校の主導で２年前から南三陸町と交流してしております。今年で３年目になります。特に昨年からは、地域住民も一緒に交流しようということで、希望する地域住民と一緒に交流をしております。この交流は７月と１０月の２回行っているわけですけれども、１０月の交流の打合せも行ってきております。といいますのは、地域住民の方々が是非向こうで地元の秋の野菜を販売したいと直売所をやっている方々からの依頼がありました。それから、蕎麦を打っている方々も向こうで南外産の蕎麦を打って試食していただこうということで、一緒に打合せをしてまいりました。これも秋に行うことを南三陸町から了承を得ております。それから、秋にこちらで南三陸町からも新鮮な魚や海産物等も販売してくれるということで、大変秋の交流が楽しみになってまいりました。以上でございます。

吉川教育長
　次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館副主幹
　仙北公民館は７項目、挙げさせていただいておりますけれども、記載のとおりです。以上です。

吉川教育長
　最後ですが、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長
　太田公民館は、１７項目でございます。「太田キッズ学びぃ教室」について御報告いたします。７月２３日、２４日、２７日の３日間行われました。小学生１６５人の申込みがありまして、３日間頑張っていました。時間帯が午前１０時から午前１１時半ということで短いわけですけれども、それでも自宅にいるよりは楽しいらしく、集まって友達と一緒に勉強して楽しかったという声がありました。冬休みも計画して実施したいと思っております。以上です。

吉川教育長
　以上、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきました。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

鈴木委員
　おととい、大雨が降りましたが、心配で近くの見回りをしました。学校もどうかなと思って見回りしたんですが、災害時の学校を含めた教育委員会の対応はどのような仕組みになっているものか、教えてください。

吉川教育長
　まず、通常時の場合と今回のように休日のような場合の対応があろうかと思いますが、教育指導部長、お願いします。

教育指導部長
　今回のように休日には子供たちが学校で部活動がある場合を除き、学校にいない状況です。今回は総合防災課から、中仙地域の清水地区の一部において、斉内川の堤防が決壊したということで地域住民に避難指示が出され、避難所については中仙農村環境改善センターであるとの連絡を受けました。教育委員会では、災害対策本部が設置されたことを受けて、各小･中学校長に学校の状況、児童生徒の安否、家屋の状況等を報告するように指示を出しました。各校から次々と報告が寄せられたという状況であります。市の範囲も広いことから大雨の場合は学校によって状況が異なりますが、校内にいた児童生徒の安全確保については、学校に留め置く方がいいのか、保護者に迎えに来てもらうかなどの判断は現

場の各校長に任せております。堤防が決壊した金鎧地区に災害対策本部から避難指示が出されたのを受けて、関係する清水小学校と中仙中学校にはそのことの確認をとっております。管理職が避難所に赴き、どういう方々が避難されているか、地域にも無理のない範囲で状況を確認していただきました。児童生徒に関係する世帯は避難していないと、被害に遭っていないということを夕方には確認することができました。今回のような場合には、教育委員会も災害対策本部の枠組みとして行動するということになります。災害対策本部が設置されていない場合は、各地域の情報が入った段階で学校と連携して施設や児童生徒の状況を確認するということで進めております。

鈴木委員
　分かりました。今回のように休日だと現場の皆さんは大変だなと、有り難いなと思いました。

吉川教育長
　よろしいでしょうか。ほかにございませんか。

富樫委員
　今回のＵＳＢメモリーの紛失について、保護者に説明、報告したようですが、どういった反応だったでしょうか。

教育指導部長
　関係する１１校の校長から、関係保護者のお宅１軒、１軒を回って状況を説明いたしました。特段、強いお怒りとか、お叱りはございませんでした。ただ、２件ほど思い出せないほかの情報はないでしょうねといった心配の声はありました。
　紛失元の学校では、ＰＴＡの全体会を開いて校長が説明をいたしました。私もその場に立ち会ったんですが、きちんと事実を伝えていました。保護者から質問や意見はございませんでした。その後もないようです。保護者からは、謝罪を受け入れていただいたものと考えているところであります。

吉川教育長
　保護者の皆様や関係者には、大変な御心配、御迷惑をおかけいたしました。全ての業務を校内で行うことができればこれに超したことはないわけですが、どうしても持ち出さなければいけないといった現実もありまして、これを無視することもなかなか困難です。全ての教職員にＵＳＢメモリーを配付してパスワードの設定や管理を徹底させて対応したいと考えております。おそらく、全県でもここまでやるのは本市だけではないかと思います。
　ほかにございませんでしょうか。

各委員　（なし）

吉川教育長

それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。
次に、付議案件に入ります。議案第４０号「教育に関する事務の点検･評価報告書案について」を議題といたします。教育総務課長、説明をお願いします。

教育総務課長
それでは、資料１１ページをお開きいただきたいと思います。議案第４０号「教育に関する事務の点検･評価報告書案について」、御説明申し上げます。報告書案は、別冊でお配りしておりますので、御覧願います。
１ページを御覧ください。この報告書は、下の参考欄にありますとおり地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条の規定に基づき、教育委員会の事務の管理及び執行の状況の点検・評価を行い、議会に提出し、公表するものでございます。
２の点検・評価の実施方法については、点検及び評価の対象とする事務は、平成２６年度の活動に関する事務のほか、大仙市総合計画、新しい時代の学校教育だいせんビジョン、大仙市生涯学習推進計画又は大仙市スポーツ推進計画に基づく同年度に実施した事業のうち、２１事業を選定し、点検・評価を行いました。
点検及び評価の手法と方針につきましては、教育委員会の活動状況を明らかにするとともに、教育に関する事業を個別に評価し、今後の改善を図ろうとするものでございます。また、学識経験者の知見の活用につきましては、有識者として秋田大学教育文化学部副学部長　佐藤修司教授、社会教育委員　鈴木三郎氏、前大曲小学校長　毛利博信氏の３氏であります。これは、昨年度から導入した手法で独自の外部評価を行い、２回の会議で外部評価委員の方々の意見を伺いました。
教育委員会の会議の開催状況及び審議の件名を２ページから４ページまでに記載しております。開催回数は、毎月の定例会のほか臨時会を２回開催し、合計１４回開催いたしました。また、議案については５８件でありました。
５ページには、教育委員会委員の活動状況及び研修状況を掲載しております。全小・中学校の入学式、卒業式への出席や公民館訪問、学校訪問をしていただいております。昨年度の委員研修は、大仙市内の文化財の視察や盛岡市で開催されました東北六県市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会に出席しております。また、毎年実施しております大仙仙北美郷教育委員会連絡会に出席して研修を行っております。
６ページからは、各部署からの事務事業の点検・評価表でありますが、各部署から抽出していただいた２１事業について、事業の目的、事業の実施状況、自己評価、課題等について所属長から説明し、その後、外部評価委員の方々から御意見を伺いました。各点検・評価表ごとに委員からの意見、評価等を一番下の欄に掲載しております。また、２７ページ、２８ページには、外部評価委員からいただいた総評も掲載しております。
以上、御説明申し上げましたが、御承認賜りますようお願いいたします。

吉川教育長
総評にもございますが、特にこれを大きく変えた方がいいとか、そういった御意見はございませんでした。ただ、少子高齢化が進んでいくので、そうしたものを考えた事業をもっとという御意見はございました。ただいまの説明について、委員の皆様から御質問等ご

ざいませんでしょうか。

風登委員
　全事業数はどのくらいあって、どうやって２１事業を選択したのか教えていただけないでしょうか。

教育総務課長
　恐縮ですが、全事業数に関しましては把握しておりません。事業の抽出につきましては、先ほども申し上げましたとおり大仙市総合計画など各種計画にのっとり実施している事業で、各部署において主要な事業を本課にあっては２事業、それ以外の部署にあっては１事業抽出していただいております。全ての事業を評価するということは、現実的でないのでこのような形で行っております。

風登委員
　先ほどの７月の事業報告で事業数が１６４もあって大変驚いたんですけれども、この２１事業以外の事業については、評価される機会があるものでしょうか。

教育総務課長
　毎年、予算編成時に個別の事業について継続した方がいいのか、改善する余地があるのか検討しておりますし、これとは別に市役所の全庁的な事務事業評価も行っておりますので、全ての事業ではありませんが、こうした機会に内部評価に加え、市民評価もいただいているところです。

風登委員
　はい、ありがとうございます。

吉川教育長
　ほかにございませんでしょうか。

富樫委員
　御自分たちで事業を選択しているわけですけれども、私が参加した事業で市制駅伝大会を見ますと、課題の欄にありますとおりタイムの集計に時間が掛かると、大会が終わって閉会式までにあまりにも時間がありすぎて間延びしていると感じていたんですが、主催する当事者も課題をきちんと把握されて評価を受けているということで、こうした課題をどんどん出して改善に結び付けていってくれたらいいなと思います。

吉川教育長
　ほかにございませんか。

各委員（なし）

吉川教育長
　皆様、よろしいでしょうか。それでは、議案第４０号「教育に関する事務の点検･評価報告書案について」は、原案のとおり承認することとします。
　次に、議案第４１号と議案第４２号とは関連がございますので、一括して審議をお願いしたいと思います。
　議案第４１号大仙市就学指導委員会委員の委嘱について、議案第４２号就学指導専門検査員の委嘱について、教育指導課長、お願いいたします。

教育指導課長
　はじめに、議案第４１号大仙市就学指導委員会委員の委嘱について、御説明申し上げます。資料の１２ページを御覧願います。１３ページに委員の名簿がございますので、そちらも御覧願います。
　「就学指導委員会」とは、幼児、児童生徒の障害の種類、程度等に応じて教育学、医学、心理学等の観点から総合的な判断を行いまして、適切な就学指導を行うために設置している調査・審議機関であります。
　本案は、大仙市就学指導委員会規則第３条の規定によりまして、１３ページの名簿のとおり委嘱しようとするものでございます。
　任期は、平成２７年８月１日から平成２８年７月３１日までとしております。
　続いて、資料の１４ページ、１５ページを御覧願います。
　議案第４２号就学指導専門検査員の委嘱について、御説明申し上げます。
　「就学指導専門検査員」とは、就学指導委員会の下に置かれ、就学指導委員会が適切な就学指導を行えるように幼児、児童生徒の障害の種類、程度等に応じてその関連する専門事項について検査又は調査し、必要な資料を作成することを職務とするものであります。
　本案は、平成２７年度の就学指導を行うに当たり、専門検査員を委嘱する必要があることから、大仙市就学指導委員会規則第８条第２項の規定により、資料１５ページの名簿のとおり委嘱しようとするものであります。
　任期は、当該専門事項に関する検査又は調査の期間となります。
　以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

吉川教育長
　はい、ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いします。

富樫委員
　就学指導に当たっては、保護者の思いもあるでしょうし、学識経験者にいろいろアドバイスをいただきながら、大変だと思いますが、よく話し合って子供たちの将来に向けてより良い方向に進めていただければと思います。

伊藤委員

就学前に、例えばアスペルガー症候群とか診断を下すわけですけれども、ただ、就学前に一発でそうした症状を把握することは非常に難しいと思います。就学してから判明することもかなり多いのではないかと思います。特に情緒系については就学前も大事ですが、就学後も大事だなと思ってるんですが、いかがでしょうか。

教育指導部長
情緒系については、委員の中にお二人のお医者さんがいらっしゃいまして意見をいただいております。専門検査員が観察してまとめてきたデータや、既にそれまで医師と連携していてそちらにあるデータなどそうした情報をまとめたものを基にして就学指導委員会としての案を出しております。

吉川教育長
伊藤委員がおっしゃったように、学年途中にやっぱりちょっと厳しいという子供たちも上がってきますので、その段階で判断をいただくという会になっております。
皆様、よろしいでしょうか。それでは、議案第４１号「大仙市就学指導委員会委員の委嘱について」及び議案第４２号「就学指導専門検査員の委嘱について」は、原案のとおり委嘱することとします。
それでは付議案件をただいまのところで途中にさせていただきまして、先ほど御承認いただきましたように、次第の５番その他に入らせていただきます。その他ございましたら、お願いいたします。

教育総務課長
次回８月の定例会の日程についてです。８月２６日水曜日の午後２時からここで開催したいと考えております。よろしくお願いいたします。

吉川教育長
委員の皆様、次回８月２６日水曜日の午後２時からということで、いかがでしょうか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
では、次回の定例会は、８月２６日水曜日の午後２時からということでお願いいたします。
ほかに、皆様からございませんでしょうか。

富樫委員
お隣の岩手県で子供のいじめの事件が起きましたけれども、子供と担任の先生との間でノートのやりとりで子供の状況を把握していたようなんですが、こうした問題があった場合に担任一人で抱え込まず、管理職なり同僚に相談できるような雰囲気の学校であってほしいと思います。本市はしっかりしていると思いますけれども、今一度、確認しながら、

先生方の負担を軽くしていただきたいのと、子供や保護者の意見を少しでも早く察知して対応していただきたいと思います。

吉川教育長
　ありがとうございます。岩手県の事案を受けての指導等について、教育指導部長、お願いします。

教育指導部長
　４月１１日に校長会がありまして、その際にもこのことについてお話しております。県教委の義務教育課長からの指導もございまして、このことについてもお話ししております。４点ほどありまして、変化を見逃さない、情報共有、即時に子供、保護者と連携を密にする、そして命を大切にする心を育てるというようなことについて、お話させていただきました。本市におきまして、ずっと以前から行われていることでありますが、例えば小学校であれば家庭との連絡ノートその他に一人勉強ノートなど子供と学校と家庭がつながるツールがあるわけですが、中学校においては生活ノート、一人勉強ノート、これはほぼ全ての学校が行っております。これに関しましては、学級担任だけではなく、管理職が見る日を決めているのがほとんどです。
　今回のことを教訓として、改めて子供を多面的に理解することについても、指導しているところであります。
　今ちょうど、いじめ等に関する調査の報告が各校から上がってきておりまして、まとめている段階ですが、認知項目が非常に細かくなっております。認知件数が多いことが恥ずかしいことではなく、どこにでもあるという認識で些細なことでも大事に全員で取り扱う、そして大事なことは解消、解決に持っていくということで、そういう認識に立って皆さんで頑張りましょうということの確認をしております。

吉川教育長
　ほかにございませんでしょうか。

鈴木委員
　今の件に関連してなんですが、こうした事案が発生した場合に、詳細な情報提供が県とか国からあるものでしょうか。
　それと学校で誰も助けてあげる人がいなかったというのが、大変残念に思います。ということは、学校現場がおかしくなっていたのかなと思いますが、分かる範囲で何か情報がありましたらお願いします。

教育指導部長
　１点目についてですが、現在、文科省の職員が入って調査を進めているということのようですので、いずれ何らかの形で各教育委員会の教訓としての部分については、公表される可能性もあろうかと思いますが、個人に関わる部分でどこまで情報提供があるのかについては、不明です。

吉川教育長
　具体的なものは、届いておりません。公表されたもの、今後は、文部科学省の通知によって対応していくということになろうかと思います。
　２点目ですが、大津の事件以降、黙って見ているのが悪いと、いじめる者が一番悪いけれども、こういった意識が問題だということであります。本市のある中学校では生徒会が中心になって、青いリボンをして我々からいじめをなくすんだという取組をしている中学校もあります。上から言われてやるのではなく、生徒自らが自分たちの問題として取り組んでくれております。

教育指導部長
　本市には中学生サミットという組織がありまして、各校の良い取組を他の学校でも広げようということでここ数年やってきておりますが、中学生サミットでは「いじめ撲滅宣言」も出して自分たちの活動ということで取り組んでおります。こうした組織的だった活動の中でも、決していじめが無くなっているかというと、そうではないという実態があります。いじめがあることがその学校にとって恥だという認識でいると、隠したりといったことが出てまいりますので、いつでもあるんだという認識で、恥ではないという認識を持ってほしいと思いますし、我々もそうした目で見ていかないといけないんだろうと思っているところです。

吉川教育長
　いじめはあるものだという認識で、我々も対応していかなければと思っております。
　ほかにございませんしょうか。

（なし）

吉川教育長
　それでは、ここで一旦、休憩といたします。この後は、秘密会とさせていただきます。教育指導部長、生涯学習部長、教育総務課長、教育指導課長、教育研究所長に説明員として出席をお願いします。その他の職員の皆様は、ここで退席ということでよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。

（以下、秘密会）